

「卒業後の自分を考える連続自主講座」、「第2回びわ湖家庭医療フォーラム」を開催しました。

7月6日（土）滋賀医科大学構内において、日本プライマリ・ケア連合学会滋賀県支部と共催で開催されました。

当日は滋賀県内の指導医の先生を始め、専攻医や初期研修医の先生、医学生の皆様などを含めると、合計36名の参加がありました。

実施内容は次のとおりであり、総合診療・家庭医療に関心がある皆様による研修交流の絶好の機会となり、充実した一時を過ごしていただきました。

## 1. メイン講演「小児在宅医療と社会との関わり方や仕事の魅力・やりがい・学生へのメッセージ」

（ひばりクリニック院長・認定特定非営利活動法人うりずん理事長 高橋 昭彦 先生）

○小児在宅医療と社会活動 ～無駄だったことは一つもない～

・シスターの言葉（目の前の必要なことをやりなさい。そうすれば、必要なものは、あなたの目の前に現れます）

- ・ひばりクリニックの活動
- ・医療的ケアが必要な子どもたち
- ・認定特定非営利活動法人「うりずん」の活動
- ・子どもの日々の暮らしを保障する
- ・子どもと家族が抱える10の課題
- ・多職種連携のための「こころ配り」
- ・皆さんにお伝えしたいこと



## 2. 総合診療医、新・家庭医療専門医の制度について説明

（雨森 正記 先生、松井 善典 先生）

○総合診療を目指す若手医師のための新たなキャリアパス

- ・プライマリ・ケアを实践する人材の養成の取り組み
- ・多様で将来性のあるキャリア
- ・基本方針
- ・総合診療専門医
- ・病院総合診療専門医
- ・新・家庭医療専門医
- ・サブスペシャリティ専門医



3. 後期研修プログラムの紹介（現在実施中の6機関の先生方から説明あり。）

- ・ 関西家庭医療学センター
- ・ 滋賀医科大学医学部附属病院
- ・ 高島市民病院
- ・ 洛和会音羽病院大津ファミリークリニック
- ・ JCHO滋賀病院
- ・ 滋賀家庭医療学センター

